



## ■地元で働く人から学ぶ会

「なぜ人は働くのか？」という課題に対して自分達がたてた仮説を検証できたでしょうか？普段の生活をしていると、なかなか意識することはないのですが、身の回りにはたくさんの方が働いています。その中で、お忙しいところ、附属光中学校のために6人の講師の方が来てくださいました。子どもたちはワークシートに、講師の方の仕事に対する思いなど経験談を交えながら、たくさんの記録をとっていました。



## ■ワークシートの感想

1組男子 働くということは、「自分の楽しい(好き)と思っていること」と「誰かのために働くということ」の二つの考えが浮かびました。仕事を決めるのは、子どもの頃の事がきっかけになるかもしれないので、僕は学校生活でいろいろな事に興味をもちたいです。



2組男子 今は、AI が発達して、そのうち自分達の仕事がなくなってしまうということが共通していた。そのためにも、今のうちにたくさんを経験することが大切だと知った。生きるためというのがあったが、それに加え、自分がやってよかったと思えるようなことをすることが大切だと学んだ。

1組女子 今日のお話の中で、絶対友達が多い方がいいという事を学びました。人はなぜ働くのかに対して書き切れないほど、いろいろなお話をしてくださいました。



2組女子 どちらの講師の方も共通して「人のためになること」が嬉しい、幸せだとおっしゃっていました。私はまだ中学生で講師の方のようなことはできないけど、委員の人に協力することやボランティア活動に参加することなど自分ができることをしたいと感じました。

3組男子 やっぱり勉強は大切だと言われました。そして大人になってからは時間がなくなるので今の時間を大切にしたいと思いました。そして、早く目標を決めてその目標に向かって努力したいです。



3組女子 周りの人に喜んでもらったり、感謝されたりすることは、みんな嬉しいし、それがあから頑張れること、好きなことは、楽しめるけど、そうでないことも楽しみたい。今日のお話から、いろいろなことに挑戦してみたいと思った。時間があるうちに、後悔しないように一生懸命生きられるといいなと思った。